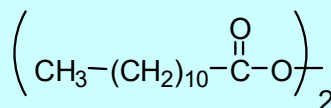


**パーロイル<sup>®</sup>L (PEROYL<sup>®</sup>L)**  
 ~ Dilauroyl peroxide ~



分子式：C<sub>24</sub>H<sub>46</sub>O<sub>4</sub>    分子量：398.63    理論活性酸素量：4.01%

**特徴**    パーロイル<sup>®</sup>Lは、脂肪族系ジアシルパーオキサイドであり、芳香族系のベンゾイルパーオキサイドよりも低温活性で水素引抜き能が低くなる特徴があります。塩化ビニル、AS、アクリル系モノマー、酢酸ビニル、MMAなどの各種ビニルモノマーの重合開始剤として幅広く使用されています。また60～100℃でのFW、引抜成形に適した不飽和ポリエステル樹脂の硬化剤としても有用で、成形物の黄変が少なくなる特徴があります。

<b>品質</b>	パーロイル <sup>®</sup> L	
	純度	98%以上（工業純品）
	外観	白色粉末もしくはフレーク状

<b>保管温度</b>	保管温度	室温冷暗所30℃以下
-------------	------	------------

<b>包装形態</b>	包装形態	10kg（5kg×2）
-------------	------	-------------

<b>一般的性状</b>	比重	1.01
--------------	----	------

<b>半減期及び活性化エネルギー</b>	1分間半減期温度	1時間半減期温度	10時間半減期温度	活性化エネルギー	頻度因子
	116.4℃	79.5℃	61.6℃	126.5kJ/mol	3.84×10 <sup>18</sup> hr <sup>-1</sup>

（ベンゼン中における熱分解：過酸化物濃度：0.10mol/L）

<b>安全性</b>	圧力容器試験 （消防式）	1mmオリフィス	10/10
		9mmオリフィス	0/10
	熱分析（DSC）	発熱開始温度	102℃
		発熱量	779J/g
	引火点（セタ密閉式）	未測定	
	発火点（ASTM E659）	255℃	
SADT	未測定		

<b>適用法令</b>	消 防 法	第5類 第二種自己反応性物質
	労働安全衛生法	危険物・爆発性の物 その他の有機過酸化物
		通知対象物を含有せず
	P R T R 法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船 舶 安 全 法	酸化性物質類・有機過酸化物
	航 空 法	酸化性物質類・有機過酸化物

<b>その他の分類</b>	国連分類	クラス5.2    国連番号 3106
	CAS-No.	105-74-8
	官報公示整理番号	(2)-629（化審法、安衛法）
	TSCA	登録有り
	EINECS	203-326-3

**記載内容の取扱い**

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、[peroxide@nof.co.jp](mailto:peroxide@nof.co.jp) までお願いします。